資料２

新座市立小・中学校適正配置等基本方針策定のながれ
（STEP１～STEP４）

【審議会】

令和８年
- ７月30日
  - 現状・課題
  - アンケート案

１１月
- 将来推計
- アンケート結果
- 課題の整理

令和９年
- １月
  - 課題のまとめ

基本方針案
再編の方向性等

令和10年

答申

令和10年３月
基本方針公表

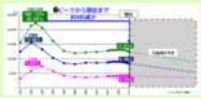
学校説明会

パブリックコメント

STEP1

●現状把握・実態把握

① 児童生徒数・学級数の推移の把握



② 多面的な実態把握

●各学校施設の立地等の現状と課題
- 敷地状況、校舎配置状況
- 長寿命化計画の把握
- 劣化状況、工事履歴
- 今後の維持・更新ｺｽﾄ

●通学区域、通学時間、通学手段
- 小学校と中学校区
- 学校間距離
- 通学ｴﾘｱ、通学路の課題
- 児童生徒の多い地区等

●学校を取り巻く現状と課題
- 人口・地域・財政
- 学校に係る総コスト

●学校施設・運営面での実態把握
- 特別支援教育
- 不登校対応
- コミュニティ・スクール
- 施設の老朽化対応　等

●ニーズ調査（アンケート等）

対象者
- 児童生徒
- 教職員
- 保護者
- 学校関係者　等

STEP2

●現在～10・20年後の変化、課題の整理

① 適正規模
- ●小規模校／大規模校のメリット・デメリット
- ●学校規模による事象及び課題と効果
- ●教職員数と学級数
- ●適正規模の定義

② 学校施設・運営面での課題
- ○○○○○
- ○○○○○
- ○○○○○
- ○○○○○
- ○○○○○

STEP3

学校教育に係るビジョン（これからの学校像　等）

●基本となる目標の確認

新座市教育大綱における基本目標
- 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進
- 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進
- 心豊かで健全な青少年の育成の推進
- 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承
- 教育施設の整備・充実の推進

●課題の整理を踏まえた論点の設定例

適正規模
適正配置

地域との関わり

（学校教育に係るビジョン）

これからの学校像　（どのような教育を目指すか）

（例）学年を超えたつながり

（例）多様な学習形態

多様なニーズへの対応

学習の質
特色ある教育

小中連携・一貫教育のメリット・デメリット

論点を基に具体化して方針に反映する

方針へ反映

STEP4

（仮称）適正規模・適正配置基本方針

望ましい学習環境の見える化

（構成案）

第１章　基本方針の概要
- １　方針策定の目的
- ２　方針の位置づけ
- ３　方針期間

第２章　学校を取り巻く現状と課題（背景）
- １　児童生徒数と学級数の推移
- ２　学校施設
- ３　学校運営に係るコスト
- ４　通学区域・学校配置
- ５　学校施設・運営面での教育課題（特別支援・不登校など）

第３章　これからの学校像
- １　国の動向
- ２　市が目指す「これからの学校像」
- ３　「これからの学校像」のイメージ

第４章　未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針
- １　学習集団の規模の確保
- ２　新たな学びへの対応
- ３　安全・安心な施設の整備
- ４　地域とともにある学校

第５章　適正規模に近づけるための対応策

第６章　再編案について（今後の方向性）

第７章　推進に向けて
- １　今後の取組の進め方
- ２　部局横断的な連携・推進体制の検討